

友だちは  
たくさんいないと、  
ダメ？

いつも、たくさんの友だちにかこまれている人や、しょっちゅう手紙やメールをやりとりしている人を見ると、なんだか楽しそうで、うらやましくなりますよね。

それに比べて自分は…と、さびしい気持ちになることもあります。



おとなしい性格のAくんは、クラスで話をする人もそれほど多くはありませんが、幼稚園時代から仲良しのBくんにはどんなことでも話せます。

でも、卒業後は、Bくと別々の学校になりそうなので、Aくんはとても心配しているのです。



100人の友だちがいても、心を許せる人が1人もいないことだってよくあることです。

Bくと離ればなれになるのはさびしいことですが、離れても、友だちは友だちです。

おとなになると仲の良い友だちでも、たまにしか会えないこともあります。それでも、ずっと友だちでいられるものです。

ちょっと勇気を出して声をかけたら、新しい親友になるかもしれません。無理にたくさんの友だちをつくろうと焦らなくていいのですよ。

# 友だちは、 たくさんいないと

だめ？



「みんないっしょ」  
じゃないと  
ダメ？

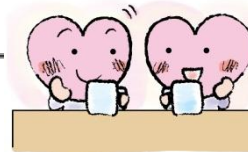
Dさんは、みんなと話が合いません。まわりの方がおもしろがっていることに、まったく興味もてないからです。

それでも、クラスの友だちが楽しそうに盛り上がっているのを見ると、みんなと一緒にのほろほろかなと感じることがあるそうです。

春は、進級や卒業で身の回りの環境が、ガラリと変わる時です。期待の一方で、心配なことや不安なこともあるでしょう。今日は、そんなお話です。

興味や好みは、人によってちがうのが当たり前です。

まったく興味も持てないのに、無理やり、まわりの人に合わせる必要はないと思います。



先生は、たとえ一人で心もゆるして話ができる友だちがいるのは素晴らしいことだと思います。



でも、自分は興味がないからと、最初からドアを閉ざしてしまうと、せっかくのチャンスをおかしてしまうかも…！

話を聞いてみたら、意外におもしろいかもしれないし、あなたの好きなことと共通点が見つかるかもしれません。それで、世界が広がればうれしいと思いませんか？

